

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年08月12日

計画の名称	あびこのうるおいと安心を支える下水道整備事業の効率的推進（重点計画）													
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	我孫子市													
計画の目標	下水道整備により、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		1,440	A	1,440	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R03	R05	R07
1	整備面積を1,331ha（R03初）から1,368ha（R07末）に増加させることにより、下水道処理人口普及率を84.7％（R03初）から87.2％（R07末）に増加させる。			
	下水道処理人口普及率	85％	86％	87％
	下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	管渠（ 污水）	新設	北部第2処理分区の污水幹 線整備（未普及解消）	污水管 φ=300～250mm L=1, 24 2m	我孫子市	■	■	■	■	■	560		－
	A07-002	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	管渠（ 污水）	新設	北部第4処理分区の污水幹 線整備（未普及解消）	污水管 φ=300～250mm L=167m	我孫子市		■	■	■		45		－
	A07-003	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	管渠（ 污水）	新設	第4処理分区の污水枝線整 備（未普及解消）	污水管 φ=200mm L=790m	我孫子市		■	■	■	■	132		－
	A07-004	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	管渠（ 污水）	新設	第5処理分区の污水枝線整 備（未普及解消）	污水管 φ=250～200mm L=2, 86 9m	我孫子市	■	■	■	■	■	325		－
	A07-005	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	管渠（ 污水）	新設	第10処理分区の污水枝線 整備（未普及解消）	舗装復旧工事	我孫子市	■					1		－
	A07-006	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	管渠（ 污水）	新設	北部第4処理分区の污水枝 線整備（未普及解消）	污水管 φ=200mm L=701m	我孫子市				■	■	64		－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	我孫子市	直接	我孫子市	管渠（ 污水）	新設	北部第7処理分区の污水枝 線整備（未普及解消）	污水管 φ=200mm L=2, 611m	我孫子市	■	■	■	■	■	313		—
											小計						1, 440		
											合計						1, 440		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
内部評価により実施した事後評価（案）に対し、市民の意見を反映させるため、パブリックコメントによる意見募集を行う。	令和7年7月
	公表の方法 我孫子市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	下水道未普及地区において計画的な下水道整備を進めたことで、下水道を利用可能な人口が増加し、下水道処理人口普及率が84.7%（R3当初）から85.3%に上昇した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き下水道未普及地区において計画的な下水道整備を進め、安全・安心・快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	87%	R7年度から別の計画に移行したこと、優先順位の見直しにより未執行となった事業があることから、計画策定当初より事業量が減少したことにより、新たに整備することで下水道を利用可能になる人口が当初の想定より減少し、下水道処理人口普及率の実績が目標値を下回った。
	最 終 実績値	85%	